大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F127310108045	設置等組織名	建築・デザイン学部　建築・デザイン学科
大学名	大阪電気通信大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	大阪	事業計画名	大阪電気通信大学 建築・デザイン学部新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	2－① 令和6年2・3月 建築・デザイン学部多目的製図室整備のため教室の改修	2－① 令和5年11月 建築・デザイン学部多目的製図室整備のための設計開始 2－① 令和6年2月 建築・デザイン学部多目的製図室整備のための改修工事開始 2－① 令和6年3月 建築・デザイン学部多目的製図室整備のための改修工事完成	令和5年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	3-① 令和6年 建築・デザイン学部広報費用 3-② 令和6年 BIM授業実施のためのライセンス費用	3－① 令和6年 建築・デザイン学部広報費用 3－② 令和6年 BIM授業実施のためのライセンス費用	令和6年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	3-③ 令和7年 建築・デザイン学部広報費用 3-④ 令和7年 BIM授業実施のためのライセンス費用	3-③ 令和7年 建築・デザイン学部広報費用 3-④ 令和7年 BIM授業実施のためのライセンス費用	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和8年度			令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度			令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度			令和10年度自己評価：リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価：リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価：リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価：リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和５年４月 建築・デザイン学部建築・デザイン学科の設置届出予定	令和５(2023)年４月 建築・デザイン学部建築・デザイン学科の設置届出	
定員減又は 学部等の廃止	工学部建築学科 廃止予定（入学定員 80名、工学関係） 工学部環境科学科 廃止予定（入学定員 90名、工学関係） 医療健康科学部医療科学科 減員予定（編入学定員 2名、工学関係） 医療健康科学部健康スポーツ科学科 減員予定（編入学定員 2名、工学関係） 総合情報学部デジタルゲーム学科 減員予定（編入学定員 2名、工学関係）	令和５(2023)年５月 工学部建築学科学生募集の停止（入学定員 80名、工学関係） 令和５(2023)年５月 工学部環境科学科学生募集の停止（入学定員 90名、工学関係） 令和５(2023)年５月 医療健康科学部医療科学科 減員（編入学定員 2名、工学関係） 令和５(2023)年５月 医療健康科学部健康スポーツ科学科 減員（編入学定員 2名、工学関係） 令和５(2023)年５月 総合情報学部デジタルゲーム学科 減員（編入学定員 2名、工学関係）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	大阪電気通信大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
BIM周辺ソフトウェアの開発企業である、ユニオンシステム株式会社、株式会社イズミ設計、株式会社日積サーベイ、株式会社FMシステムと連携し、建築・デザイン業界の現場で利用されているソフトウェアの専門家を外部講師として登用するなどし、応用知識・技能を修得できる科目を開講する予定である。また、昨年度実践した、BIMで設計した構造物のデータを連携企業先のセメント系材料を用いた3Dプリンタにより出力し、デジタルデータから直接構造物を製作する過程を学ばせるとともに、セメント系材料の3Dプリンタのメリットを活かした構造設計や提案を考えさせる教育を継続して実施する計画を立てている。	ユニオンシステム株式会社、株式会社イズミ設計、株式会社日積サーベイ、株式会社FMシステムと打ち合わせを行い、建築・デザイン業界の現場で利用されているソフトウェアの専門家を外部講師として招聘し、現場で実用している応用知識・技能を体験できる科目での授業を実施した。	連携企業が提供するセメント系材料を用いた3Dプリンタを活用し、デジタルデータから直接構造物を製作するプロセスを学ぶとともに、プリンタの特性を活かした構造設計や提案を行う教育を継続する計画を立てていました。しかし、令和６年度をもって当該事業が終了したため、地元・寝屋川市都市デザイン部と協働し、建築・デザイン学部の教員が有する専門知見と学生の参加を通じて、寝屋川市が進めるまちづくりをより魅力的に進化させることを目的とした新たな連携体制を発足し、まちづくりプロジェクトのための調査事業を開始しました。また、「無印良品の家」を展開する株式会社MUJI HOUSEおよび独立行政法人都市再生機構と共同で進めている「MUJI×UR団地まるごとリノベーションプロジェクト」において、本学学生がデザイン・DIYに参画し、団地共用部を現代の暮らしにあった再生・活用することをテーマに地域の方々と協働で進め、旧管理サービス事務所のリノベーションを実施した。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
□ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
□ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学にて周辺地域の高等学校等への説明会実施、外部会場での進学相談会、入試相談会への参加し広く広報活動を実施している。また、特別連携高校や主に近畿圏の高等学校において、「建築・デザインとは？―空間ってそもそも何？？―」、「建築家の役割」、「建築環境シミュレーション」、「建築構造におけるハイブリッド化」、「建築の学び」、「建築環境デザイン」、「都市は建築から」など様々なテーマにて出張授業の実施を予定している。また、一般選抜における学力試験の実施科目は、従来の工学部建築学科では理系科目のみで構成していたが、文系科目である外国語と国語の構成も取り入れ、多様な入学者確保に向けて門戸を広げる計画としている。	特別連携高校や主に近畿圏の高等学校において、当該学部の見学会12校（274名）、模擬授業8校（287名）を実施。 入学試験においては、文系型入試を取り入れ、総志願者数469名（内、文系志願者108名）となった。また、令和7年度入学試験の結果及び分析内容を共有し、今後に向けた広報活動、募集への取り組みの検討を始めている。	2026年度入試では、理工系分野における女性のキャリア育成を目的とした「女子特別推薦入試」の実施し、SNSやWeb広告などの広報媒体を積極的に活用し、訴求した結果、総志願者数465名の内、女子志願者124名（26.7%）となり、昨年度より女子志願者率が改善したが、他大学の同分野と比較した場合には、まだ課題が残る結果である。 2027年度入試へ向けて、さらに広報活動を見直していく計画をしている。

大学名	大阪電気通信大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	建築・デザイン学部　建築・デザイン学科（工学関係）

大区分	小区分	年度 / 改組状況 / 項目	単位	R5年度 選定・届出	R6年度 開設	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	150	150	150	150														
		編入学定員	人	-	-	-	-	-														
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	150	150	150															
		入学者数	人	-	176	158	175															
		女子学生数	人	-	37	29	49															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	4															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	150	150	150															
		入学者数(B)	人	-	176	158	175															
		女子学生数	人	-	37	29	49															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	4															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	1.17	1.05	1.17															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	150	300	450															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	176	330	492															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	1.17	1.10	1.09															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	24	40	55															
		授業科目の単位数	単位	-	46	83	165															

大学名	大阪電気通信大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1250	1256	1256	1256															
		入学者数	人	1488	1452	1398	1317															
		女子学生数	人	119	149	134	166															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	4	13	19	32															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,250	1,256	1,256	1,256															
		入学者数(B)	人	1,488	1,452	1,398	1,317															
		女子学生数	人	119	149	134	166															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	4	13	19	32															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.19	1.16	1.11	1.05															
	収容定員等	収容定員(C)	人	5,030	5,024	5,018	5,024															
		編入学定員	人	15	3	3	3															
		在籍者数(D)	人	5,703	5,748	5,758	5,624															
		編入学者数	人	2	2	3	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.13	1.14	1.15	1.12															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	1173	1149	1137	1194															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	162	177	183	179															
		授業科目の単位数	単位	1780	1783	2076	2240															

大学名	大阪電気通信大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1250	1256	1256	1256															
		入学者数	人	1488	1452	1398	1317															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,250	1,256	1,256	1,256															
		入学者数(B)	人	1,488	1,452	1,398	1,317															
		入学定員充足率（B/A)	倍	1.19	1.16	1.11	1.05															
	収容定員等	収容定員(C)	人	5030	5024	5018	5024															
		編入学定員	人	15	3	3	3															
		在籍者数(D)	人	5703	5748	5758	5624															
		編入学者数	人	2	2	3	1															
		収容定員充足率（D/C)	倍	1.13	1.14	1.15	1.12															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定	開設												
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	139,411	268,585	249,937	269,714	381,167	205,588	193,780	244,476											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	262,745
本事業による助成金の額(F)	千円	151,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	266,520

特記事項